

一般質問



通学路について



令和会 ● 大島 正秀 議員

**問** 市内の9校の小学校と4校の中学校の通学路の現状の把握と今後の見解について

**答** 市内小中学校は、市教育委員会の指示を受けてPTAと連携しながら、次の3つの観点を中心に通学路の確認と安全点検を実施しています。1つ目は、見通しのよい道路や幹線道路の抜け道になっているなど車の速度が出やすい箇所や大型車の進入が多い箇所。2つ目は、過去に事故に至らなくてもヒヤリハット事例があった箇所。3つ目は、保護者、見守り活動者、地域住民等から改善要請があった箇所です。通学路の危険箇所は、市民から教育委員会に直接、または各校を通じての報告により、現状を確認し把握しています。

**問** 通学路の危険度の把握と改善計画は。

**答** 各校から報告された通学路の危険箇所は、甲賀土木事務所、甲賀警察署交通課、市の土木建設課・環境政策課・農林振興課、子ども政策課・学校教育課等で構成された通学路等安全推進会議で、危険度の協議を行い、情報を共有して危険箇所の合同点検を行っています。甲賀警察署から委嘱された、おうみ通学路アドバイザーにも参加していただき、改善に向けた方策の話し合いを経て、各担当部署が改善を実施します。

**問** 通学路におけるガードレールの設置について

**答** 合同点検で甲賀警察署交通課等の関係機関と法律上設置が可能かどうかを含めて協議をしています。



もっと共有！双方向！  
情報で協働まちづくり



無党派 ● 中土 翔太 議員

**8月豪雨対応で振り返る、災害と防災に関する情報発信の課題**

**問** 市内全域への避難指示は混乱を招いたのではないかと。

**答** 土砂災害警戒情報が発令されたうえ、河川氾濫も懸念されたため全域への避難指示としたが、被災状況なども併せて発信するよう努めます。

**問** 市の対応の意図が市民に伝わっていない。ともに振り返る機会を。

**答** タイムラインを広報などで共有します。

当時の情報を行政と市民で共有し、意識の擦り合わせの実施を。

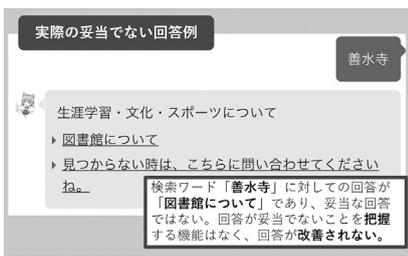


8月豪雨＝行政と市民の共通の災害経験  
→共有することで次に生かす経験に

**ICTを活用した市民と行政、双方向の情報伝達について**

**問** 市ホームページのチャットボット回答精度を改善する機能を。

**答** 回答が妥当でない際にフィードバックできる機能の付加や人工知能搭載チャットボットの導入を検討します。



▲湖南市のホームページより

**問** 道路や公園などの不具合通報にLINEなどを活用することで、市民が手軽に情報提供できるのでは。

**答** 位置情報や写真が添付できるメリットがあり、調査研究します。